

令和6年 11月 25日

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会  
会長 荒船丈一 様

施設名 志木瑞穂の里  
氏名 藍原 将之

## 研修会報告書

研修会名	第1回 栄養関係職員研修会			
日時	令和6年 10月17日(木) 10:00~16:00			
会場	埼玉県県民活動総合センター セミナーホール1			
講師	明海大学歯学部機能保存回復学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野 大岡 貴史氏			
参加人数	56名(53名+研修メンバー3名)/定員60名			
研修委員 (氏名・施設名)	村松 昭信(鶴寿の里ナーシングホーム) 元井 伶(戸田市立介護老人保健施設) 藍原 将之(志木瑞穂の里)			
研修会のテーマ	『高齢者の摂食嚥下障害の見かたと対応』			
研修会の評価	アンケート回収枚数	53 枚	3. グループディスカッション	4 5
	1. 研修内容と目的の一致	5 5	4. 研修会の進め方	4 5
	2. 講義に対する評価	5 5	～総合評価点～	18 20
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修委員としての感想等を記述)			
	<p>今回は午前中に講師を招いての講義、午後は講義内容や日々の業務を踏まえてグループワークの実施という構成で1日を通して研修が行われた。参加者は50名以上が集まり、研修内容や日頃の業務に関するアンケートも実施した。午前中の講義内容は摂食嚥下のスペシャリストである大岡氏をお招きし、摂食嚥下障害や対応についてご講演頂いた。アンケートの回答では参加者からは「嚥下障害についてよくわかった」というコメントや「先生の話が聞きやすかった」という意見が挙がっており全体的に良い意見が多かった。午後のグループワークでは「悩みなどが共有できてよかった」という感想が多かった。上記のように全体的に前向きな意見が多く挙がり、内容の濃い研修会であったと思われる。一方で反省としては講義終了後にも質疑応答が長引いてしまい、講師の休憩時間が短くなってしまったことが挙げられる場合は時間を区切る、早々に講師を別室に案内をするなどして強制的に切り上げるといった対応が必要であったと考えられる。研修運営に関して当初、経験者は村松氏のみでほか3名は今年からのメンバーとなった。さらに直前で1名退職による不安な面も少なからずあったが、講師選定含む研修内容や案内告知を2か月前に各施設に発信するなど早期に準備が円滑に運営をすることができた。現時点で次年度も今年度の委員3名は全員が継続となった。準備に関しては今年度に動きだしていきたい。当日の進行に関しては反省点も生かし、今回の研修のように参加者の満足度が高い研修会を運たい。</p>			

\*アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。